

2-4 サイン計画

■ 基本的な考え方

来庁者が、容易に目的地にたどり着けるよう、それぞれ適切な場所に、次のサインを設置します。

- ・現在地と目的地の位置や経路を示す「案内サイン」
- ・移動途中の経路で目的地への誘導を助ける「誘導サイン」
- ・目的地に設置する「表示サイン」

また、これに加えて、総合案内や複数のコンシェルジュを配置し、来庁者をサポートします。

■ 分かりやすいサイン計画

1 ピクトグラム（図記号）の活用

視覚的で、直感的に伝わりやすいピクトグラムをサインに活用します。
トイレやエレベーターなどの庁内設備は、ISO（国際標準化機構）規格をベースとしたピクトグラムを併記します。

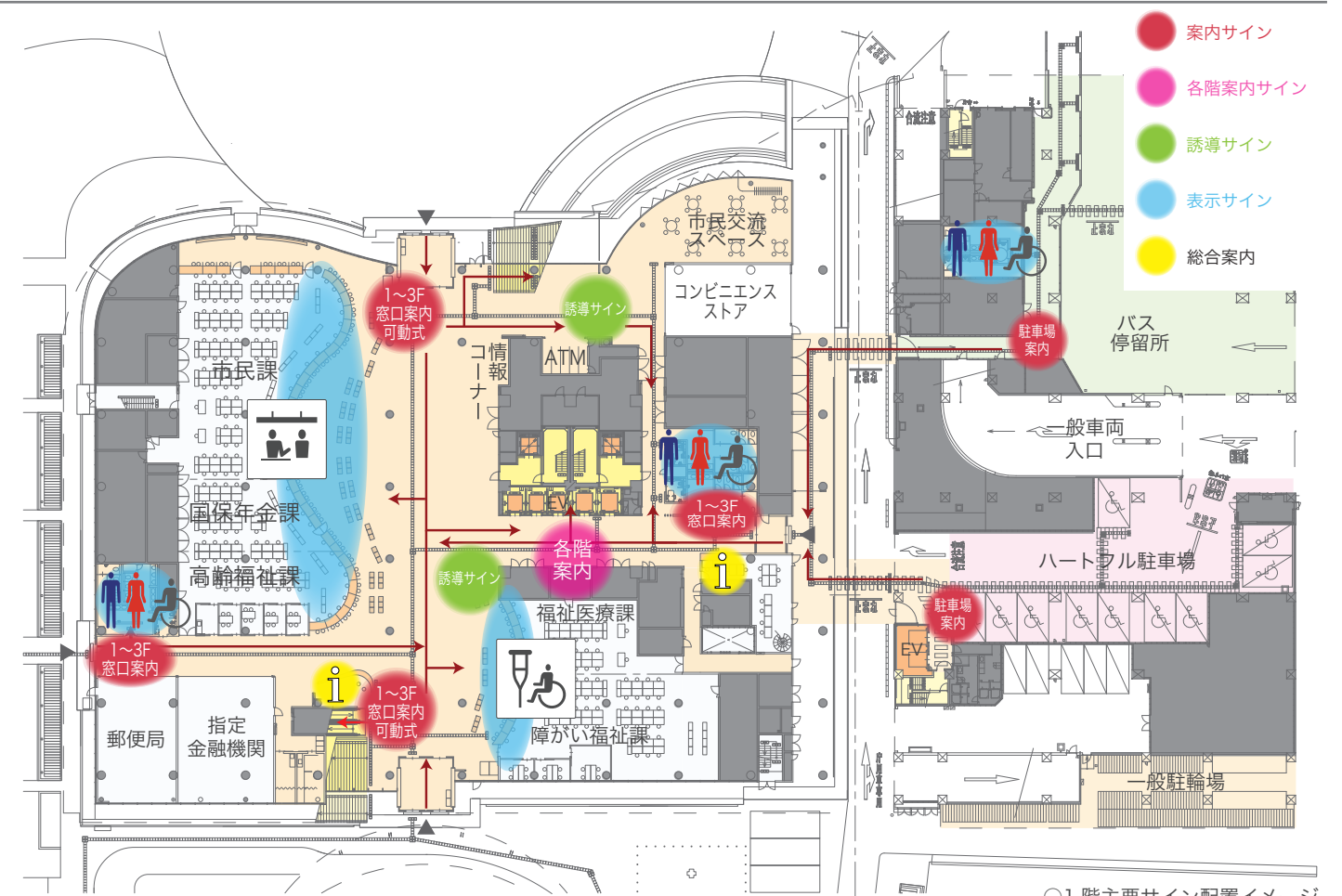
2 言語表記

サインは、日本語と英語の2か国語表記とします。
その他の言語は、庁内案内マップなどによる対応とします。

3 誰も見やすいサイン書体

日本語の書体は、視認性が高く分かりやすい、シンプルな書体である「ロダン Pro DB」を用います。

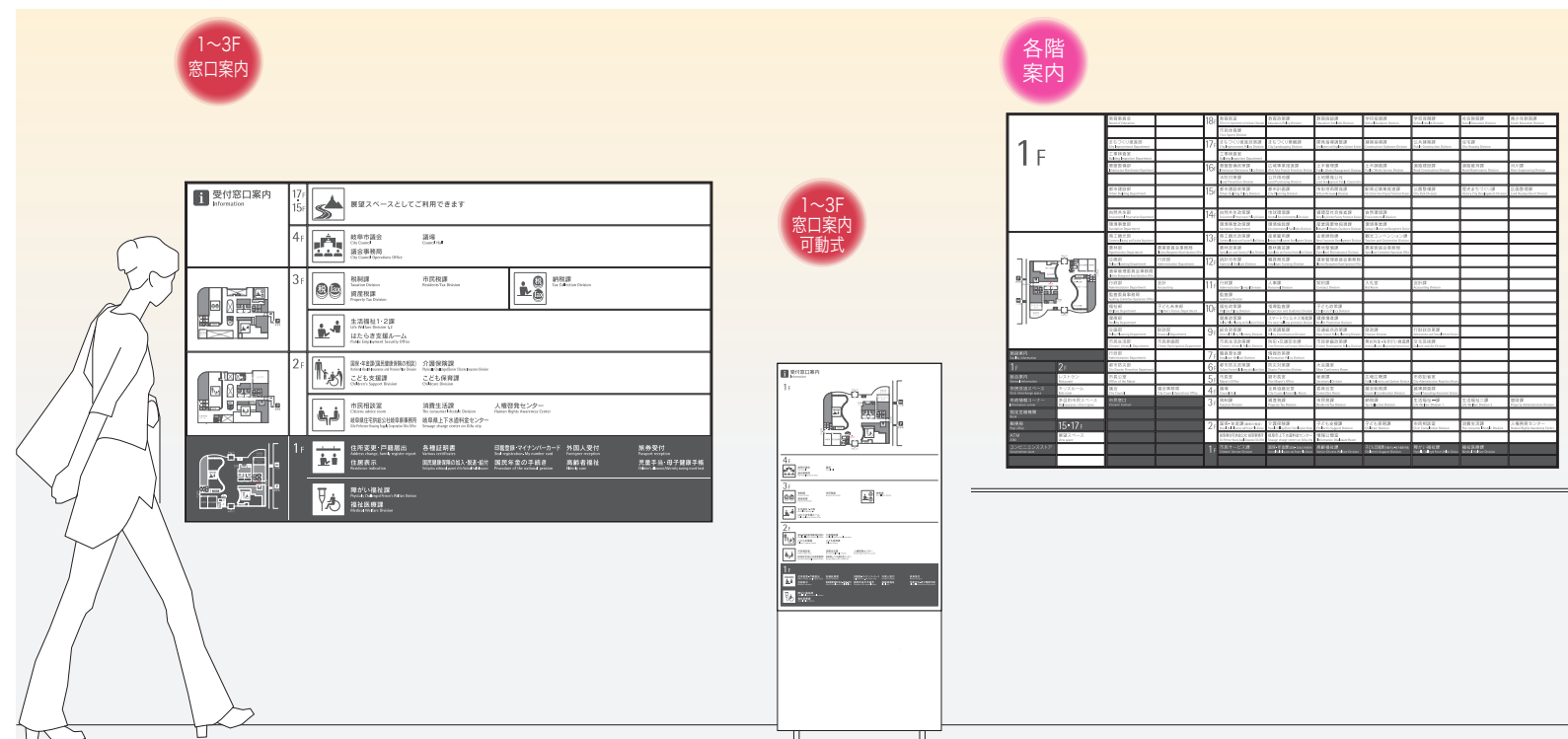
また、英語・数字の書体は、優しさと品格を備えた書体である「ローティス SemiSans55」を使用します。



○1階主要サイン配置イメージ

案内サイン

移動の起点となる出入口や立体駐車場、エレベーターホールや階段前などに設置します。



○案内サイン

誘導サイン

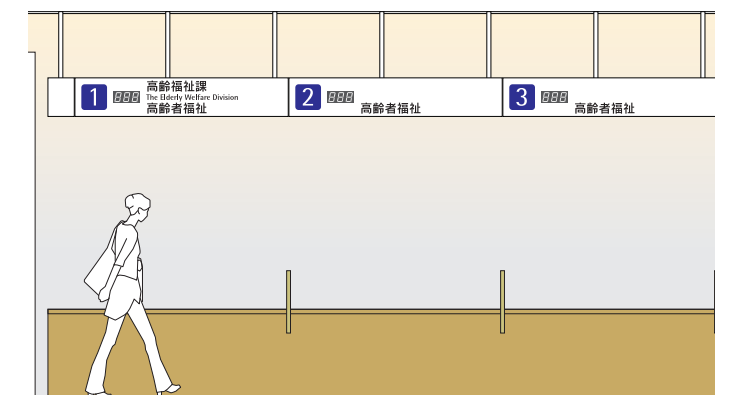
通路の曲がり角などに設置し、目的地への誘導を助けます。



○トイレ誘導サイン

表示サイン

窓口カウンターやトイレなど、目的地となる場所に設置し、サインを見る人に対して、適切な距離や高さ、見えやすさに配慮します。



○受付窓口表示



○多目的トイレ表示